

## 英語科「コミュニケーション英語Ⅰ」学習指導案（例）

実施日時：平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇）〇校時  
場 所：〇年〇組教室  
対 象：〇年〇組  
授 業 者：〇〇 〇〇  
教 科 書：〇〇 〇〇〇（〇〇〇）

### 1 単元名 Lesson 3 動物たちの驚くべき能力 —動物園へ行こう！—

#### 2 単元の目標

- (1) ある動物園で飼育されている動物の能力や、施設でのルールについて説明された英文を意欲的に読み進める。
- (2) 能力・可能・許可を表す助動詞 can、may、be able to、義務を表す助動詞 must、have to、should の意味と用法を理解する。
- (3) ALT に秋田県で訪れてほしい施設や場所について紹介する。

#### 3 単元と CAN-DO 形式での学習到達目標との関連

日常生活における身近な話題について、聞き手を意識して伝わりやすいように工夫しながら話すことができる。【GRADE 4 話すこと（発表）】

#### 4 単元観

本単元は、動物園を中心に「施設見学」を題材として取り上げており、そこで飼育されている動物たちの様々な能力や施設でのルールについて説明している。扱われている言語材料は助動詞である。助動詞は、話し手の気持ちを伝えるうえで非常に重要な役割をもっている。コンテキストを伴った例文を提示し、正しく理解させたい。自分の気持ちを伝えるための表現活動を通して、実際に使用させながら、意味の微妙な違いにも気付かせたい。

#### 5 生徒観

このクラスは、英語の学習に対して意欲的な生徒が多く、ペア活動にも積極的に取り組んでいる。英文を読んだり聞いたりして、内容を理解することはおおむねできているが、自分の伝えたいことを正しい文構造、英単語を用いて表現することに困難を抱えている生徒が多い。実際の言語使用の中で、生徒自らがより正確に情報を伝えるための方法を考える場面を設定し、生徒の表現力を向上させる手立てを適宜与えていきたい。

#### 6 単元計画（総時間 6 時間）

- 1 時間目 …… Listen（リスニング）、Point（助動詞の解説と助動詞を使った活動）、Part1（内容把握・口頭による要約）
- 2 時間目 …… Part2（内容把握・口頭による要約）
- 3 時間目 …… Part3（内容把握・口頭による要約）
- 4 時間目 …… Exercises（練習問題）、ALT に紹介する「一度は訪れたい秋田の施設」について話し合う
- 5 時間目 …… 「一度は訪れたい秋田の施設」の原稿を完成させ、クラスで発表する【本時 5/6】
- 6 時間目 …… ALT に「一度は訪れたい秋田の施設」を紹介する

## 7 単元の評価規準

A コミュニケーションへの関心・意欲・態度	B 外国語表現の能力	C 外国語理解の能力	D 言語や文化についての知識・理解
動物たちの様々な能力や施設のルールについて理解しようとしている。 ALT へ「一度は訪れたい秋田の施設」を紹介しようとしている。	助動詞を使って、推奨する秋田県の施設や場所について説明することができる。	動物たちができると、施設のルールを理解することができる。 助動詞の用法の違いを理解することができる。	助動詞を含む英文の構造を理解している。 どのようなときに助動詞を使うか理解している。

## 8 本時の学習

### (1) 目標

ALT に宛てた「一度は訪れたい秋田の施設」についての紹介文を完成させ、発表することができる。

### (2) 指導計画

過程	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Warm-up</li> <li>・ 教科書の例文を音読する。</li> <li>・ 前時に扱った ALT へ紹介する施設について確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○助動詞の発音、意味について確認させる。</li> <li>○相手に伝わるよう、大きくはっきりとした声で音読させる。</li> <li>○推奨する施設を確認させる。</li> </ul>	
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の目標を提示する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <b>「一度は訪れたい秋田の施設」の紹介文を完成させ、クラスで発表しよう！</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時にパートナーと意見交換をし、まとめたポイントを確認し、プリントに「一度は訪れたい秋田の施設」を説明した英文を書く。</li> <li>・ パートナーとプリントを交換し、英文を添削し合う。</li> <li>・ パートナーからプリントを受け取り、赤で下線が引かれた英文を、より適切な英文に書き直す。</li> <li>・ 4人のグループで互いの「秋田県の一度は訪れたい施設」を紹介し合う。</li> <li>・ 「一度は訪れたい秋田の施設」をクラス全体で紹介する。</li> <li>・ 発表を聞いた生徒は、発表者に質問をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書の例文を参考に英文で説明できるよう指導する。</li> <li>○既習の助動詞を2つ以上使い、場面にあった使用に注意しながら、聞き手や読み手を意識して書かせる。</li> <li>○パートナーの紹介文で、内容が面白いと思った英文には青で下線を、内容が分かりづらい英文には赤で下線を引かせる。</li> <li>○復習で取り上げた英文を参考にして書き直させる。また、パートナーと相談しながら互いの英文をより分かりやすい文にするよう指示する。</li> <li>○1回目は英文を見て、2回目は顔を上げて、3回目は何も見ないで紹介できるよう練習させる。</li> <li>○大きい声で丁寧に話すことにより、クラス全体に、メッセージがしっかりと伝わるように発表させる。</li> <li>○発表に対する質問や、それに回答することで理解が深まるように配慮する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">〔評価〕 授業後にプリントを回収し評価する。</p> </div>	B
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表の中で使用された効果的な表現を再確認し、発表内容や質問内容に対するコメントを聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表の際に役立つ表現や工夫された表現を板書し、クラスで共有する。発表や質問に再度触れることで、さらに理解が深まるようにする。</li> </ul>	